

文部
オーストリアで新発見された大阪城画(部分)
(オーストリア・ニーゲンベルク美術博物館所蔵)



エッゲンベルク城(オーストリア・グラーツ市)

9月28日[金] 13時～17時
【会場】関西大学尚文館1階マルチメディアAV大ホール
【定員】200名
<http://www.waseda.ac.jp/Museum/Event/20150928.html>

新発見 「豊臣期大坂図屏風」の魅力 —オーストリア・グラーツの古城と日本—

関西大学文学部／なにわ・大阪文化遺産学研究センター



新発見
朝日・大学パートナーズシンポジウム
「豊臣期大坂図屏風」を読む
9月29日[土] 13:00～16:30

【会場】大阪産業創造館(大阪市中央区本町)4階イベントホール 【定員】320名

- 基調講演
フランティスカ・エムケ氏(トイツ・ケルン大学東洋学部日本学教授)
- パネル討論
○内藤正典(奈良県立橿原考古学研究所監修)
○マリラ・スカラベッキ(イタリア・ケルン大学教授)
○イーライ・ガザーン(オーストリア・ギラウル城博物館主任学芸員)
○オーストリア・エッゲンベルク城博物館主任学芸員
○狩野 博幸氏(関西大学文化遺産学研究センター教授)
○北川 央氏(大阪城天守閣研究室主任/関西大学文化遺産学研究センター長)
- 道説: 水谷 真也子氏(関西大学外國語教育研究機構教授)
- コーディネーター: 鹿橋 順博氏(関西大学文学部教授/関西大学文化遺産学研究センター長)

●申込締め切り: 9月14日必着
※申込多数の場合抽選。差額料の発送をもって発表にれます。

主催:朝日新聞社・関西大学 特別協力:大阪城天守閣
このシンポジウムはサンター文化財団からの研究助成の一環として賛催されます。



エッゲンベルク城(オーストリア・グラーツ市)

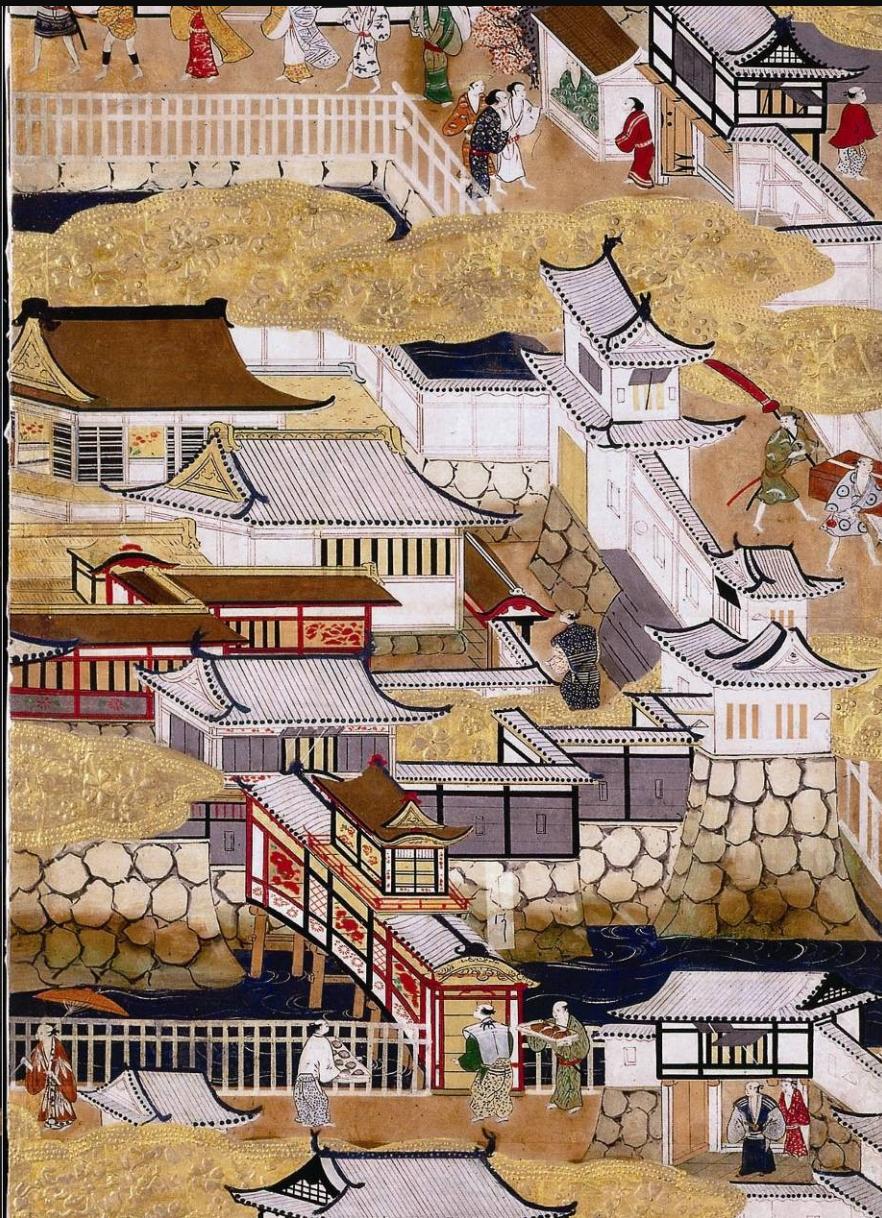
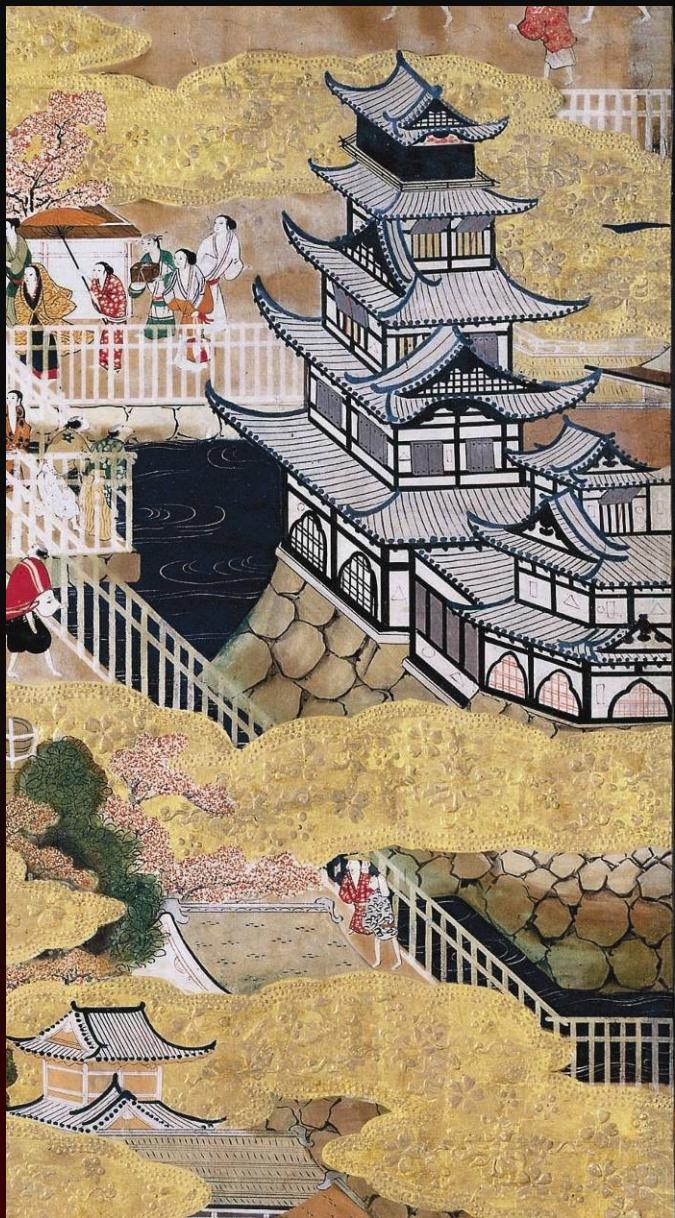




















2007.3.23

文化 批評と

安土町調査団が帰国報告

「信長」欧州で認知

17世紀半ばまで 地図に記される

「安土城之図」がバチカンにあった史料確認

秘書古文書館などの施設を調査した。結果、1592年に相應ることができた。ベルギーの骨とう収集家、ワインが屏風の飾られていたバチカンの地図画廊に入り、屏風を少しずつしていったことを書簡などを確認。その後、1592年に画廊について詳細に記された文献に屏風の記はなべてこの間に行方不明にならなくなつたと推定した。現存には、大規模な修復が行われた1992年がわれた—1530—27年がそれに次ぐ。

安土城を描いた絵は、1586年、パリで刊行された書籍にも記されている。バチカンは献上物を外の道具として他の国に贈ることが同大非禮講師、イタリア人で同國父のバジスに贈られた可能性があオラ・カリエーリさんが、1月中旬から約一ヶ月間の課題として、外文書は「アーマード船」と「バチカン」を詳しく調べる必要があ

屏風絵「安土城之図」を探していた安土町の調査団が2月に帰国し、町に報告書を提出した。屏風がバチカンに確実にあった時期が無くなつた推定年代を明らかにしておき、今後の調査を促進にしよう。また歐州で作られた日本地図に「安土」「信長」が付記または記されていだることも明らかにした。日欧交流史研究の新たな史料となるようだ。

【栗原俊雄】

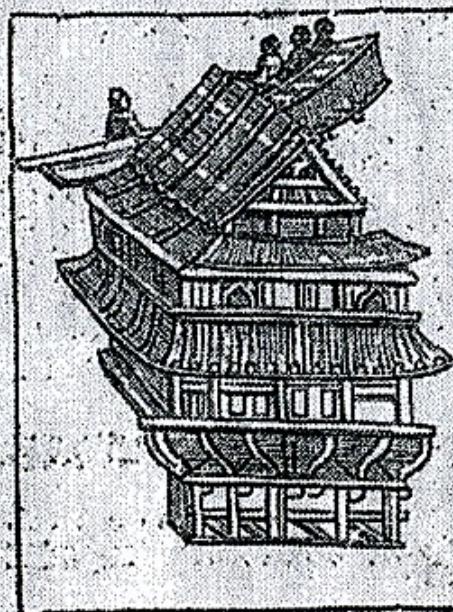


バチカン宮殿の「地図の画廊」。信長が贈った屏風も掲げられていた=安土町調査団提供

とめた書籍か、「屏風が献上された翌年の1586年記載があることを発見。本から16世紀までの地図に「Anzuchi」「N.土城がなくなったあと」に記載があることから、「信長」が付記された日本地図が作成された年だ。その結果、1592年に相應ることができた。ベルギーの骨とう収集家、ワインが屏風の飾られていたバチカンの地図画廊に入り、屏風を少しずつしていたことを書簡などを確認。その後、1592年に画廊について詳細に記された文献に屏風の記はなべてこの間に行方不明にならなくなつたと推定した。現存には、大規模な修復が行われた1992年がわれた—1530—27年がそれに次ぐ。

安土城を描いた絵は、1586年、パリで刊行された書籍にも記されている。バチカンは献上物を外の道具として他の国に贈ることが同大非禮講師、イタリア人で同國父のバジスに贈られた可能性があオラ・カリエーリさんが、1月中旬から約一ヶ月間の課題として、外文書は「アーマード船」と「バチカン」を詳しく調べる必要があ

として不明だ。むしろ悲観的見方もある。當時のバチカンにどうして信長が贈つた屏風は如何に評価力が極東の人々によって高い価値があった。一方、津田司町長によると、財政難等から調査事業に対する批判があるといふ。イタリアでの人脈と話で、学力生かし、調査の中心トーリックの影響力が極東の島国にまで及んだ歴史じ任期が切れることも痛手になり、やめました。どうやら、日本がわざわざ日本を渡航を禁するなど、領国体制が完成しつつあり、バチカンとのつながりを委託したいとしている。





新

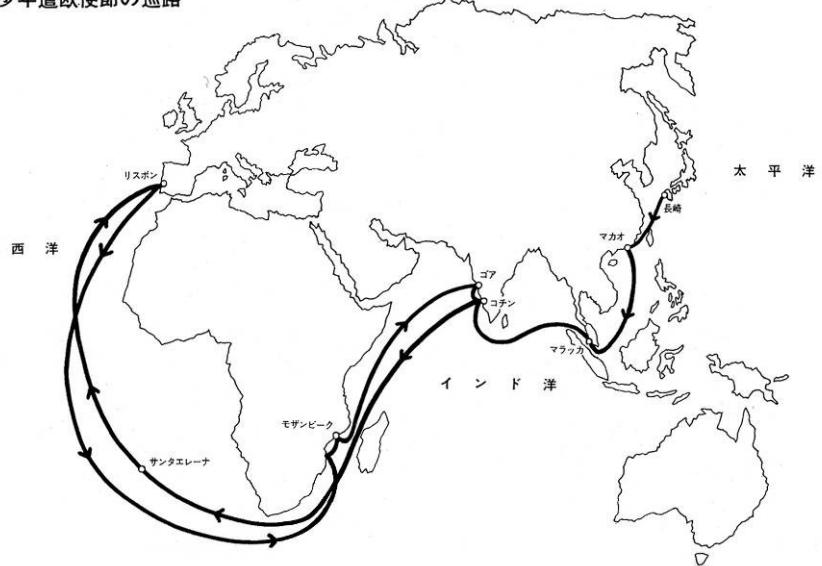
一月の月日
二月の月日
三月の月日
四月の月日
五月の月日
六月の月日
七月の月日
八月の月日
九月の月日
十月の月日
十一月の月日
十二月の月日

新

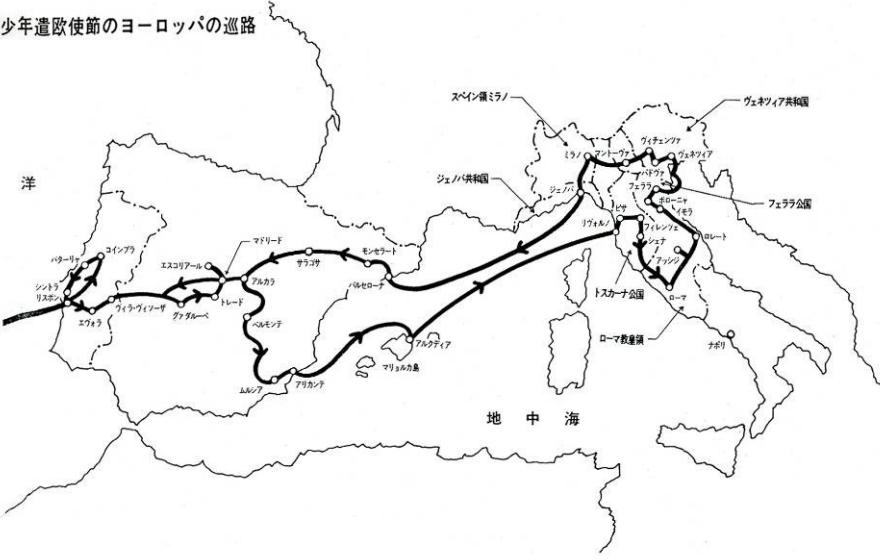
一月の月日
二月の月日
三月の月日
四月の月日
五月の月日
六月の月日
七月の月日
八月の月日
九月の月日
十月の月日
十一月の月日
十二月の月日

新

少年遣欧使節の巡路



少年遣欧使節のヨーロッパの巡路





イトハ書二八九

木下口ノハニ二八九

立平ヨリ乳唐ト床・卓立ル成・ナニヨリ子ノ平當ニシテ載前之を秋ニ毎リモニス
此節自・序トコニ生ニ年々ノ乳射セシ故モテテ二六一ノ后悔トシ人ニシテシテキチニ
シキ事ニコトモレシ中・ニキテ六千多ル人ノ一報ヨリ引括シ・致キトシ然キトシテナヘ致・
入テリ支アキニテノニヤテ是ノハ・永ニシテノキテナニキテ其ノ體不至?ニ御人ノ奉
月ニシキト・五北地蘇サ

同・此ニ方ヨリ三即今ニ各・大功・恩・如・西・モ・其・大・功・大・今・我・實・言・身・達
反・拔・ト・大・見・悟・六・此・今・別・人・ノ・原・年・名・六・先・リ・ナ・大・事・ノ・己・ハ・ト・子・壹
エ・ヒ・ン・持・シ・エ・ヒ・ク・大・文・名・三・ノ・姓・大・拔・ト・出・間・ノ・同・總・利・大・全・威・宝・人・數・三
三・一・子・一・ノ・一・而・君・ミ・リ・ト・用・イ・根・シ・接・シ・接・シ・是・其・萬・子・ノ・光・存・不・可・
終・皇・帝・各・進・延・ト・十・一・圣・廣・章・義・悟・七・其・萬・子・ノ・光・存・不・可・
九・諸・國・皆・勝・リ・ア・リ・ヤ・ア・シ・ア・ノ・罪・一・ノ・セ・シ・ハ・シ・リ・ハ・シ・リ・ハ・シ・リ・ハ・シ・リ・
九・其・萬・子・ノ・光・存・不・可・
卷・他・國・人・相・交・而・平・利・ト・者・
其・國・之・事・八・形・其・國・人・生・身・ニ



サンタリー美術館 開館記念特別展 ビオンボ

BIOMBO／屏風 日本の美

BIOMBO: Japan Heritage as Legend of Gold - A Special Exhibition Celebrating the New Home of the Suntory Museum of Art

2007年9月1日(土)～10月21日(日)

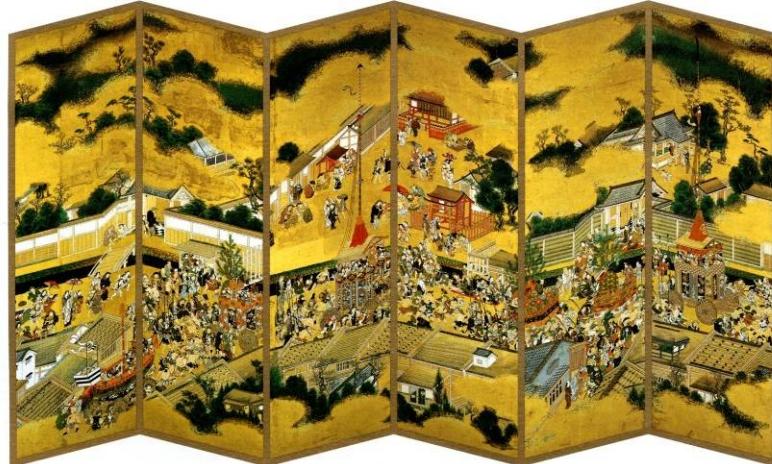
【休館日 毎週火曜日】開館時間 日・月・祝日 10時～18時 / 水～土 10時～20時 但し 9/16(日), 23(日・祝), 10/7(日)は20時まで、いずれも最終入館は閉館30分前までになります。

入館料 一般 1,300円、高校生・大学生 1,000円、中学生以下は無料 (团体割引は20名様から) 8月1日より前先券発売 (一般 1,200円、高校生・大学生 900円)

チケット料 0570-02-9999 (Pコード前壳: 687-494, 当日 687-495) ローンチケット: 0570-000-777 (Lコード: 37070) イーブラ: <http://eplus.jp> CNプレイガイド: 0570-08-9999

問い合わせ 03-3479-8600 ホームページ <http://suntory.jp/SMA/> 巡回先: 大阪市立美術館 2007年10月30日(火)～12月16日(日)

主催 サントリー美術館、日本経済新聞社、後援 アメリカ大使館、オランダ王国大使館、駐日韓国人大使館、韓国文化院、ドイツ連邦共和国大使館 協力 日本航空



源氏物語屏風、サンタリー美術館 (部分をデザイン処理しました)

*作品保護のため、巡回中展示替えを行います。あらかじめご了承ください。

◎次回観覧会 11/3(土)～12/16(日) サントリー美術館 開館記念特別展
「鳥獣戯画がやってきた! —國家『鳥獣人物戯画巻』の全貌—」

サンタリー美術館
SUNTORY MUSEUM of ART





